

(電子メール施行)
農技第1751号
令和5年10月10日

関係各位

兵庫県病害虫防除所長

令和5年度病害虫発生予報第6号を發表します。

令和5年度病害虫発生予報 第6号

向こう1か月の病害虫発生予想

作物名	病害虫名	発生予想	発生現況
冬キャベツ	菌核病	平年並	やや少
冬レタス	菌核病	やや少	少
野菜共通	ヨトウガ	平年並	平年並
	ハスモンヨトウ	多	やや多
	シロイチモジヨトウ	多	やや多
	オオタバコガ	平年並	やや少
	ハイマダラノメイガ	やや多	やや多

太文字の病害虫：向こう1か月の間、発生に特に注意を要する病害虫を示す。

* 気象の概況

近畿地方 1か月予報

(10月7日から11月6日までの天候見通し)

令和5年10月 5日

大阪管区気象台 発表

<予想される向こう1か月の天候>

近畿地方 1か月予報 (10/07~11/06)		
2023年10月05日14時30分 大阪管区気象台 発表		
向こう1か月 10/07~11/06	天候	近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
1週目 10/07~10/13	気温	1週目は、平年並の確率50%です。
2週目 10/14~10/20	気温	2週目は、平年並の確率50%です。
3~4週目 10/21~11/03	気温	3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。



* 発生概況及び防除対策上の留意点

予報根拠中の記号

- (+) : 発生量を多くする要因
- (-) : 発生量を少なくする要因
- (±) : 発生量が平年並になる要因

冬キャベツ

1 【菌核病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 やや少 (-)
気象予報 気温は平年並～高い (±)
降水量は平年並 (±)

冬レタス

1 【菌核病】

- (1) 予想：発生量 やや少
- (2) 根拠：発生現況 少 (-)
気象予報 気温は平年並～高い (±)
降水量は平年並 (±)

野菜共通

1 【ヨトウガ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並 (±)
気象予報 気温は平年並～高い (±)
降水量は平年並 (±)

2 【ハスモンヨトウ】

- (1) 予想：発生量 **多**
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップの誘殺数は**やや多** (+)
気象予報 気温は平年並～高い (±)
降水量は平年並 (±)

(3) 防除上の留意点

ア 本種はキャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、レタスをはじめ、多くの野菜類を加害する。

イ 卵塊や集団でいる若齢幼虫を見つけたら、すみやかに捕殺する。

ウ 中齢以降の幼虫には薬剤による防除効果が低下するため、早期発見に努め、若齢期の防除を徹底する。

エ 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）等を参考にし、農薬使用基準を遵守すること。また、同系統の薬剤の連用は避ける。

3 【シロイチモジヨトウ】

- (1) 予想：発生量 **多**
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップの誘殺数は**やや多** (+)
気象予報 気温は平年並～高い (±)
降水量は平年並 (±)
- (3) 防除上の留意点
 - ア 本種の加害植物は、ネギ、キャベツ、ピーマン、ナス、レタスをはじめ多くの野菜類のほか、豆類、花き類など広い範囲に及ぶ。
 - イ 本種は茎葉の柔らかい部分を好んで食害する性質があり、定植直後の被害には特に注意する。
 - ウ 薬剤散布を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針、防除情報等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守ること。
 - エ 病害虫発生予察防除情報第4号（令和5年7月14日発出）を参考とすること (<https://bo.jo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/883>)。

4 【オオタバコガ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 やや少 (-)
気象予報 気温は平年並～高い (±)
降水量は平年並 (±)

5 【ハイマダラノメイガ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 誘致植物（*クレオメ）での発生量は**やや多** (+)
気象予報 気温は平年並～高い (±)
降水量は平年並 (±)
*対象とする害虫が好む植物で、発生状況を調査するために用いられる。
- (3) 防除上の留意点
 - ア 本種はアブラナ科野菜を特異的に加害する。
 - イ 幼虫が生長点を食害するため、発生を確認してからの防除では手遅れとなることから、育苗期や定植直後の予防的防除に努める。
 - ウ 播種・定植時や育苗期に、粒剤や灌注で薬剤処理をした場合でも、その後の被害発生に注意する。天候等の条件により期待した防除効果が得られないこともあるので、本圃での薬剤散布の準備をしておくことが望ましい。
 - エ 薬剤散布を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針等を参考に薬剤を選定し、農薬使用基準を守ること。
 - オ 病害虫発生予察防除情報第6号（令和5年8月10日発出）を参考とすること (<https://bo.jo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/913>)。

* この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載
(<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>)

病害虫・雑草防除指導指針は以下のURLに掲載
<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

病害虫・雑草防除指導指針 参考資料は以下のURLから
「参考資料」を選択して下さい。
<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/haishinfile/list/hyogo>

2022年3月1日より「兵庫県病害虫防除所」X(旧Twitter)を開設しています。
発生予察情報など病害虫に関する情報を提供しますので、是非フォローお願いします。
Xアカウント(https://twitter.com/hyogo_boujoshou)

